

ASPEC 株式会社アスペック

環境経営レポート

対象期間 2020年4月1日~2021年3月31日



技術を磨いて 道と街を創ります。

我が社は「地域に貢献できる技術者の育成」を使命と考えています。



エコアクション21
認証番号 0007548

ASPEC

株式会社アスペック



2021年6月28日 作成

目次

1. 組織概要	1
2. 認証・登録の対象組織・活動	2-3
3. 主な実績	4
4. 環境経営方針	5
5. 環境経営目標及びその実績	6
6. 環境活動計画	7-11
7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	12-16
8. 環境関連法規制の遵守状況	17
9. 代表者による全体の評価と見直し	18



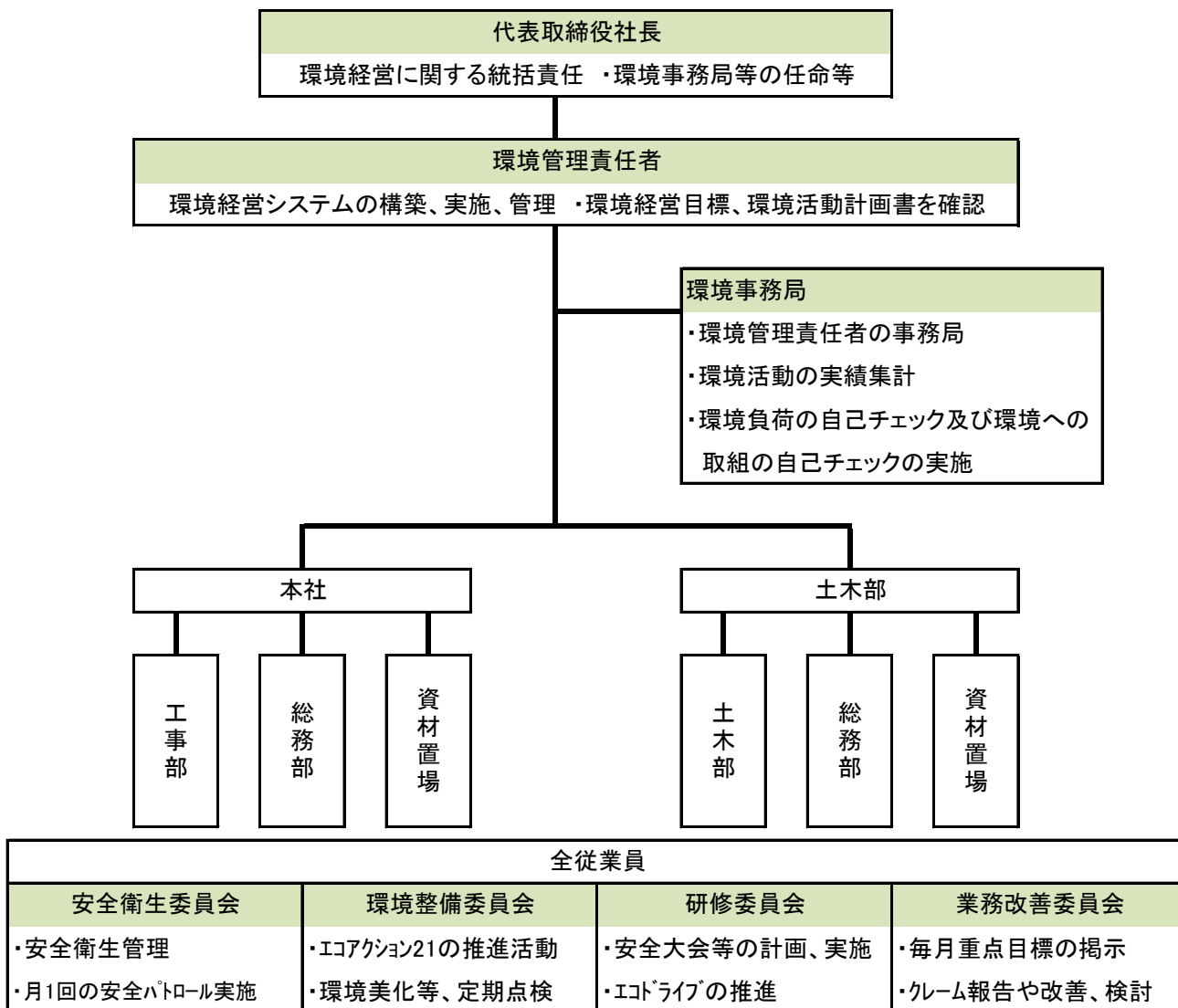
1.組織概要



■ 事業者名及び代表者名	株式会社 アスペック 代表取締役 楠 茂夫
■ 所在地	本 社 長野県長野市大橋南二丁目15番地 土 木 部 長野県長野市南長池478番地1 資材置場 長野県長野市真島町真島字梵天東沖1148他 資材置場 長野県須坂市八町
■ 環境管理責任者氏名 及び担当者連絡先	環境管理責任者 楠 茂夫 担当者及び連絡先 工事部工事課 荒井勇治 総務部総務課 内川淳子 電話:026-283-2051 FAX:026-284-8699 HP: http://kk-aspec.co.jp/ E-mail: aspec@ec5.technowave.co.jp
■ 事業内容	建設業 土木工事業・舗装工事業・道路側溝補修及び産業廃棄物の収集運搬業
■ 事業の規模	
設立年月日	平成 4年 1月 1日
資 本 金	5,000 万円
売 上 高	2,050 百万円
	第30期(令和2年4月1日～令和3年3月31日)
従 業 員	44 名
延べ床面積(本社)	1,139 m ²
延べ床面積(土木部)	387 m ²
敷地面積(資材置場)	1,976 m ²
敷地面積(土木部資材置場)	17,836 m ²

2. 認証・登録の対象組織・活動

■ 対象組織



2. 認証・登録の対象組織・活動

■ 対象範囲（認証・登録事業者名）

登録事業者名 株式会社アスペック
対象事業所 本社・資材倉庫（常駐者なし）、土木部、全組織・全活動・全従業員を対象
活動範囲 土木工事業、舗装工事業、道路側溝補修業 及び
産業廃棄物の収集運搬

■ 許可の内容

◆ 建設業

許可番号 長野県知事 特-1 第17532号
許可の有効期限 令和2年2月17日 ～ 令和7年2月16日
建設業の種類 土木工事業、舗装工事業、道路側溝補修業、産業廃棄物の収集運搬

◆ 産業廃棄物収集運搬業

許可番号 長野県知事 第2008056549号
許可の有効期限 平成30年10月12日 ～ 令和5年10月11日
建設業の種類 がれき類、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
(廃プラスチック類、金属くず、
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずは自動車等破砕物を除く)

■ 施設等の状況

積替え保管 なし
運搬車両の種類と台数

1 tトラック	1 台	4 t ダンプ	7 台
2 t ダンプ	4 台	8 tトラック	1 台
3 t ダンプ	2 台	10 t ダンプ	5 台



3.主な実績

■ 環境負荷の実績

※2020年度より土木部拡大

項目	単位	2018年度	2019年度	2020年度
二酸化炭素排出量	k g -CO2/年	209,060.6	198,244.3	531,695.5
電力(事務所)	量 (kWh)	28,400.0	26,123.1	38,064.6
	料金 (円)	1,098,810	1,236,433	845,747
灯油(事務所)	量 (L)	2,099.5	1,770.3	3,887.2
	料金 (円)	158,058	174,994	350,889
ガソリン (現場)	量 (L)	16,783.3	16,052.6	23,824.8
	料金 (円)	2,494,215	2,369,841	3,204,813
軽油(現場)	量 (L)	54,614.8	52,726.5	172,199.3
	料金 (円)	665,243	674,046	14,703,574
廃棄物排出量				
一般廃棄物(事務所)	量 (kg)	240.6	219.9	1,306.3
産業廃棄物(現場)	量 (t)	3,431.0	3,369.2	2,965.3
水使用量(事務所)	量 (m3)	213.0	438.0	622.0
ネプラス工法(現場)	千円/年	16,447,320	4,750,000	16,313,000
太陽光発電 (事務所)	kWh/年	37,018	34,356	32,654

※購入電力の排出係数は、R3.1.7環境省・経済産業省公表：Eバーグ リンマーケティング 0.439 (kg-CO2/kWh)
 (令和1年度の実績 調整後排出係数)

4. 環境経営方針

◆ 理念 ◆

アスペックは舗装工事を主とした土木関連事業を通じ、企画提案力と顧客最優先のサービスで地域社会に貢献する建設会社として、当社が掲げる『明るい職場と家庭の繁栄を創造します』の経営理念に繋がる、地球環境の保全を企業活動の最重要使命とします。

◆ 経営方針 ◆

私たちは、これからの地球環境との調和を図れる技術の推進、環境保全が重要課題との認識に立ち、次世代を担うにふさわしい専門工事業者として、環境に配慮した職場づくりと、一人ひとりの社員が主役の環境貢献活動が不可欠であることを念頭に、常に新しい創造性に挑戦し、循環型社会の一翼を担う企業として、自主的・積極的に環境への取り組みを推進します。

また、次世代に繋がる環境活動の推進としてSDGsの目標である「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を達成する為に貢献していきます。

◆ 行動計画 ◆

具体的に次のことに取り組みます。

- 1) 電力・自動車及び重機械燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- 2) 建設資材の省資源、廃棄物の3R（減量、再使用、再利用化）の推進
- 3) 水資源の節水
- 4) コピー用紙の削減
- 5) 環境に配慮した施工（ネプラス工法）の推進
- 6) SDGsの達成に向けた取組

環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。



制定日 2010年10月26日

改定日 2020年7月1日

改定日 2021年8月23日

代表取締役社長 楠 茂夫

5.環境経営目標及びその実績

環境経営目標項目	単位	基準値		今年度		中長期目標		
		2019年度		本社	本社+土木部	2021年度	2022年度	2023年度
 二酸化炭素排出 <small>購入電力の排出係数は令和3年度の二酸化炭素排出係数：JHV-グリーンマーケティング 0.439 (kg-CO2/kWh)</small>	kg-CO2/年	198,244.3	削減率	1%		2%	3%	4%
			目標	196,261.9		194,279.4	192,297.0	190,314.5
			実績	216,615.6	531,695.5	—	—	—
	原単位(kg-CO2/売上高)	128.6	原単位目標	127.3		126.0	124.7	123.4
			原単位実績	140.5	259.4	—	—	—
 電力使用量 <small>購入電力の排出係数は令和3年度の二酸化炭素排出係数：JHV-グリーンマーケティング 0.439 (kg-CO2/kWh)</small>	kWh	26,123.7	削減率	1%		2%	3%	4%
			目標	25,862.5		25,601.2	25,340.0	25,078.8
			実績	31,070.6	38,064.6	—	—	—
	原単位(kg-CO2/売上高)	18.6	原単位目標	18.4		18.2	18.0	17.9
			原単位実績	20.1	18.6	—	—	—
 灯油使用量	L	1,770.3	削減率	1%		2%	3%	4%
			目標	1,752.6		1,734.9	1,717.2	1,699.5
			実績	2,455.1	3,887.2	—	—	—
 ガソリン使用量	L	16,052.6	削減率	1%		2%	3%	4%
			目標	15,892.1		15,731.5	15,571.0	15,410.5
			実績	15,357.6	23,824.8	—	—	—
	原単位(L/百万円)	171.6	目標	169.9		168.2	166.5	164.7
			実績	113.3	176.9	—	—	—
 軽油使用量	L	52,726.5	削減率	1%		2%	3%	4%
			目標	52,199.2		51,672.0	51,144.7	50,617.4
			実績	60,314.3	172,199.3	—	—	—
	原単位(L/百万円)	569.4	目標	563.7		558.0	552.3	546.6
			実績	439.9	1,266.7	—	—	—
一般廃棄物排出量	kg	948.8	削減率	1%		2%	3%	4%
			目標	939.3		929.8	920.3	910.8
			実績	1,165.0	1,306.3	—	—	—
 産業廃棄物排出量	t	3,369.2	削減率	1%		2%	3%	4%
			目標	3,335.5		3,301.8	3,268.1	3,234.4
			実績	2,965.3	2,965.3	—	—	—
	原単位(t/百万円)	2.2	目標	2.2		2.2	2.1	2.1
			実績	1.4		—	—	—
水使用量	m ³	438.0	削減率	1%		2%	3%	4%
			目標	433.6		429.2	424.9	420.5
			実績	486.0	622.0	—	—	—
ネプラス工法	千円	4,750	増加率	10%				
			目標	5,225.0		4,750	4,750	4,750
			実績	16,313.0	16,313.0	—	—	—
太陽光発電発電量	kWh	34,356	実績	32,654.0	32,654.0	—	—	—

※2020年8月より土木部拡大。比較・目標は2020年度本社で行う。

来年度より今年度の実績を基に目標値を定めることとする。



6.環境活動計画(詳細)

電力使用量削減

担当部署：総務部

- ① エアコンの温度管理
冷房：26℃ サーキュレータの活用
暖房：22℃ 冷たい外気が入らないよう、ドアの開け閉めの工夫
- ② パソコン、プリンター等のスリープモードの活用
- ③ 昼休み時の消灯
消灯時間：12時～13時の1時間
- ④ ノー残業デーの徹底、クールビズの長期化
- ⑤ 時間外における部分点灯
時間外勤務時における照明は、必要最小限の範囲のみとする



節電の心がけメッセージ



天井に空気循環用プロペラ設置

灯油使用量削減

担当部署：総務部

- ①暖房機（ファンヒーター、ストーブ）の温度管理

使用期間	温度
11月～4月	22℃ + 2℃以下
- ②灯油の給油時期の管理と使用前のフィルター等の清掃
- ③不使用時の電源オフ

使用しない期間	5月～10月
---------	--------
- ④ウォームビズの実施
- ⑤ブラインドの調節で太陽光を有効利用する



ガソリン・軽油使用量削減

担当部署：工事部

- ①車両の適正運転（エコドライブの推進）
現場に見合った重機の選定、不必要な道具の積載禁止で車体を軽くする努力をする
タイヤの空気圧のチェック
環境に配慮した運転「エコドライブ」で燃費を向上させ、二酸化炭素などの排出量を減らす
- ②アイドリングストップの励行
- ③車両・建設機械の定期点検
定期的な点検整備をして、燃費と安全性を向上させる
オイル交換をこまめにして、燃費を向上させる
- ④効率的なルートを選択
カーナビの積極的な利用で、効率的な営業ルートの策定をする
- ⑤建設機械の対策型機種への優先使用と購入の検討
- ⑥機械操作の向上
- ⑦ハイブリッド車に全車変更



エコドライブ講習会

一般廃棄物排出量削減

担当部署：総務部

①ごみの排出量の把握と管理

把握方法	ごみの回収前に必ず計量
------	-------------

②ペーパーレス化

複写機の機能（スキャナ機能、両面・集約印刷）を積極的に利用する

Faxをデータ受信。必要な物だけプリントアウトする

パソコンからの印刷の前にプレビュー画面で確認してから印刷してミスコピーの削減に努める

③リサイクルの徹底

社内書類は裏紙（機密文書は除く）を使用する

両面使用済の用紙はリサイクルにまわす

社内文書は使用済み封筒を再使用する

メモ用紙やスクラップ台紙への利用



古封筒再利用

④ごみの分別の徹底

従業員の分別意識が向上するよう、分かりやすくポスターなどを掲示

法定保存年限が経過した帳簿書類等は、随時処分する

⑤ゴミを持ち込まない

マイカップの利用や、再利用できる容器の使用（お弁当箱等）



コピー用紙再利用

廃棄物の重量の視覚化

ごみ分別時に重量を計測し表に記入することで、数値を視覚化する

産業廃棄物排出量削減

担当部署：工務部

①廃棄物の適正処理

マニフェストにより適正処理し、許可を受けた産廃処理委託業者に引き渡す

②産廃排出量の把握

把握方法	産業廃棄物管理票（マニフェスト）による把握
------	-----------------------

③分別のルール

現場	施工場所で分別してから運ぶ
第1資材ヤード	燃えるもの、廃プラ、木くず、金属くずに分ける

④3R活動

Reduce(リデュース)：減らす Reuse(リユース)：再利用する Recycle(リサイクル)：再資源化する

水使用量削減

担当部署：総務部

① 日常的な節水

節水のステッカーを貼り、節水の意識を高める

② 井戸水のメーターの管理

※井戸水は排水量に含まれていない

③ 水漏れの点検と管理

総務部で点検を行い、水漏れ等の不具合があった場合はすぐに対応する

④ 使用後は確実に栓を締める。水量を抑えるために元栓の調整をする



ネプラス工法の推進

担当部署：工事部

① 受注先、現場でのネプラス工法の提案

公共工事	道路改良工事、側溝改良工事、道路維持修繕工事等
環境	建設廃材80%削減、掘削残土は100%削減、CO2排出量77%削減
リサイクル	側溝の使える部分（上部以外の部分）は利用

② ホームページで情報の公開

当社ホームページ <http://kk-aspec.co.jp> にて施工実績やネプラス工法について詳しく掲載

③ ネプラス工法の講習会への参加

講習会に出席することで、業界内での情報交換などを行う



側溝の痛んだ部分だけ取り
除き使える部分は利用する



太陽光発電 電力量の把握

担当部署：総務部

① 社屋1F・3F屋根に太陽光パネルが設置されている

208.4W×129枚

② 毎月の電力量・売電金額を把握していく



6.環境活動計画(その他)

宴会での食べ残し削減 30・10運動

担当部署：総務部

- ① 乾杯後30分は席を立たず料理を楽しみ、
終了後10分前になったら自分の席に戻って再度料理を楽しむ。



タブレット端末導入

担当部署：総務部

- ① 必要なデータをクラウド (BOX)に保管。会社外からでも必要なデータを見たり、書き込んだりすることが出来るようにした。



移動の時間を省き、効率よく業務を遂行し生産性を上げる

バイオマス発電 (再生可能エネルギー) 電力の購入

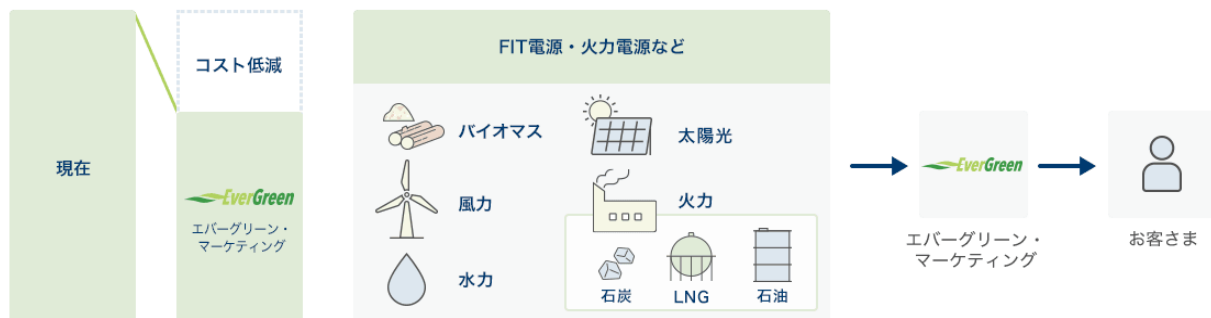
担当部署：総務部

- ① 購入電力会社をイーレックス(株) (エバーグリーン・マーケティング(株)) にすることにより
コスト削減、CO2の排出を削減

バイオマス発電とは？

バイオマス発電とは化石燃料以外の、生物由来の再生可能資源 (バイオマス) を燃料として、
発電する方法で再生可能エネルギーに分類され、地球環境にやさしい発電方法。

バイオマス発電は燃料を燃焼する際にCO2が発生しますが、排出されるCO2は、バイオマス燃料
である植物等の成長過程で大気中から吸収したものであるため、トータルでの
CO2の増減は±0になります。



企業活動を通して、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に意欲的に取り組む企業等を登録・PRする長野県独自の制度



SDGs達成に向けた経営方針

弊社の経営理念である

「私たちは企画提案力を最大限発揮し顧客最優先のサービスで地域社会に貢献すると共に、明るい職場と家庭の繁栄を創造します」は、SDGsの達成と目的を同じくするものであり、社員一人ひとりがそのことを自覚してそれぞれの役割を果たしていくことによりSDGsの達成に貢献していきます。

SDGs達成に向けた重点的な取組

重点的な取組	2030年に向けた指標
エコアクション21の活動に沿ったCO2の削減	CO2排出量の20%削減
ネプラス工法の普及（コスト低減・省資源・省エネ・工事期間の短縮）	年間受注件数 10件
労働生産性向上に繋がる合理化手法の導入件数	IT・AI等の導入含め5件

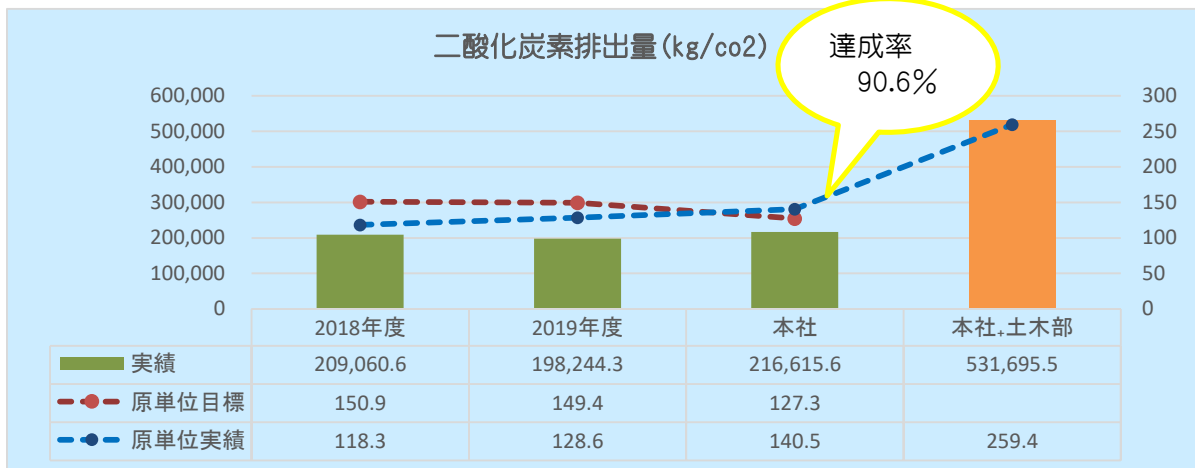


7.環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

※2020年8月土木部拡大。今年度は本社の実績と比較することとした。

二酸化炭素排出量削減

取組目標：前年度原単位実績より1%減



目標	実績	達成率	評価
127.3 kg-CO2/百万円	140.5 kg-CO2/百万円	90.6%	×

※原単位により比較

◆取組結果

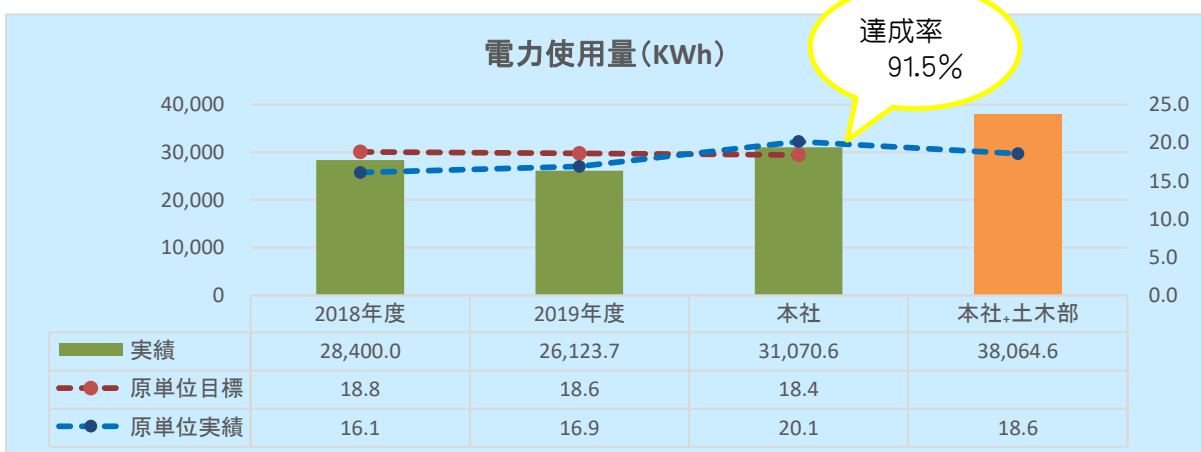
今年度は売上高が20億円超あり、過去最高の売上高となった。それに比例しそれぞれの使用量も増加した。また土木部拡大により大型重機・車両が増えたため、排出量が大幅に増加。本社だけを見ても目標を達成することができなかった。コロナ禍により状況が今までと変わったことも原因のひとつとして考えられる。

◆次年度の取組

土木部を拡大したことでCO2排出量が大幅に増加したが今後は今年度を基準に目標を設定し削減に努めていく。
まずは、1%削減ができるように、講習会等を行い社員一人一人が自覚を持って行動する。
また古い車両・重機の更新等も順次進めていく。

電力使用量削減

取組目標：前年度原単位実績より1%減



目標	実績	達成率	評価
18.4 kWh/百万円	20.1 kWh/百万円	91.5%	×

※原単位により比較

◆取組結果

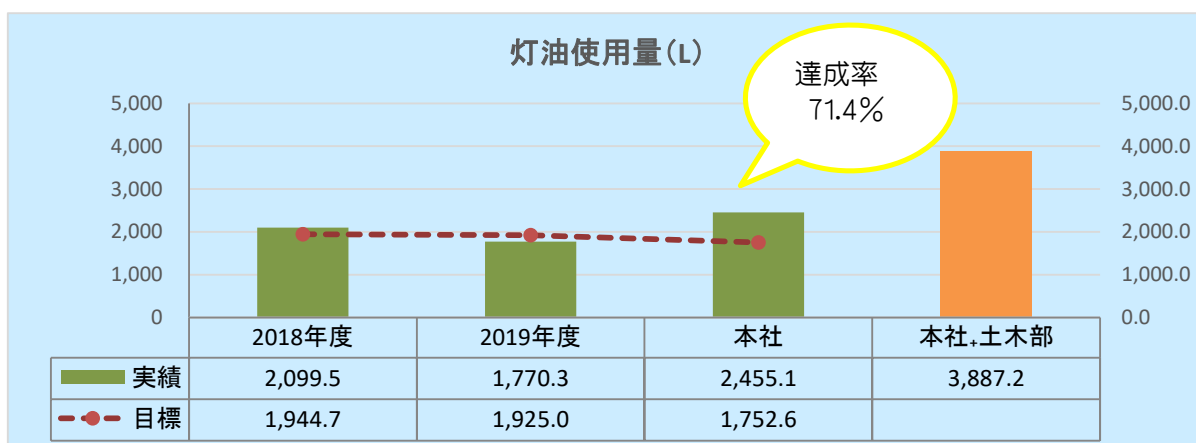
夏・冬の電気量が大幅に増加した。8月と1月の電気量が特に多くなっている。コロナ禍により、常に窓を開けて換気を行っていたため、効率が悪くなってしまった。
昨年度、電力購入会社をEPA-グリーンマーケティング社にしたことにより、電気料を大幅に削減することができた。

◆次年度の取組

設定温度の徹底、エアコンフィルターの清掃を行う。所定労働時間内での業務ができるように効率の良い業務の割り振りや、日程調整ができるような取組をしていく。
省エネ機器への入替、クールビズ・ウォームビズの実施
今後は今年度を基準に目標値を設定し削減に努める。

灯油使用量削減

取組目標：前年度実績より1%減



目標	実績	達成率	評価
1,752.6 (L)	2,455.1 (L)	71.4%	×

◆取組結果

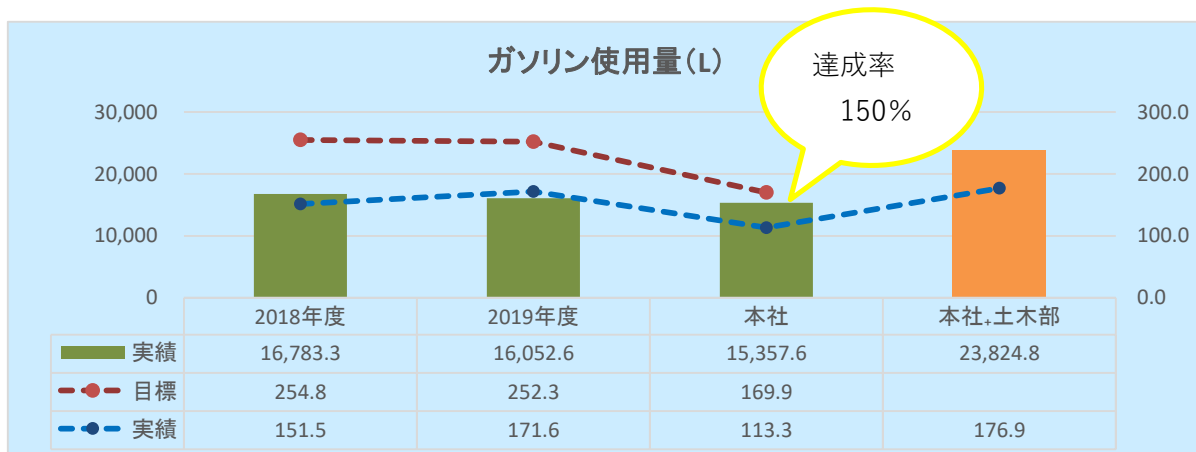
購入するタイミングにもよるが目標を達成することが出来なかった。また土木部はコロナ禍により、常に窓を開けて喚起していることにより、暖房効率が下がってしまった。

◆次年度の取組

設定温度の管理、暖房機器の点検清掃、不使用時の電源オフ、ブラインド調節による太陽光の有効利用、ウォームビズの実施等徹底していく。今後は今年度を基準に目標値を設定し削減に努める。

ガソリン使用量削減

取組目標：前年度原単位実績より1%減



目標	実績	達成率	評価
169.9 (L/百万円)	113.3 (L/百万円)	150.0%	◎

◆取組結果

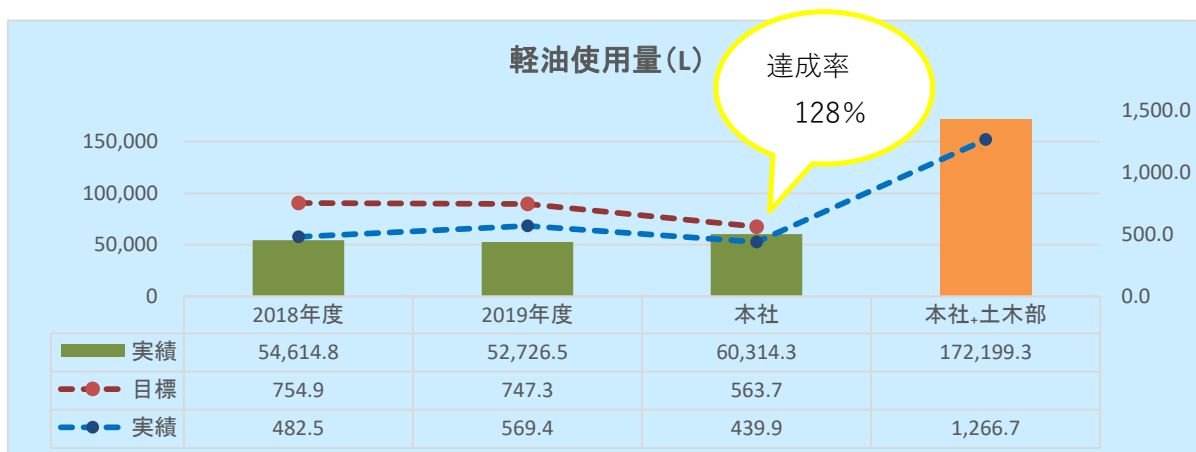
使用量、原単位ともに目標を達成することができた。エコドライブ等ひとりひとりの意識が高まった結果である。また営業車においてはすべての車をハイブリッド車にした。

◆次年度の取組

車両・重機の適正運転(エコドライブの推進)、定期点検 不必要な道具の積載禁止による車体の軽量化、カーナビの積極的利用による効率的なルートの設定等徹底。土木部拡大により使用量は大幅に増加するが、原単位目標を達成することができるよう今後は今年度を基準に目標値を設定し削減に努める。

軽油使用量削減

取組目標：前年度原単位実績より1%減



目標	実績	達成率	評価
563.7 (L/百万円)	439.9 (L/百万円)	128.1%	◎

◆取組結果

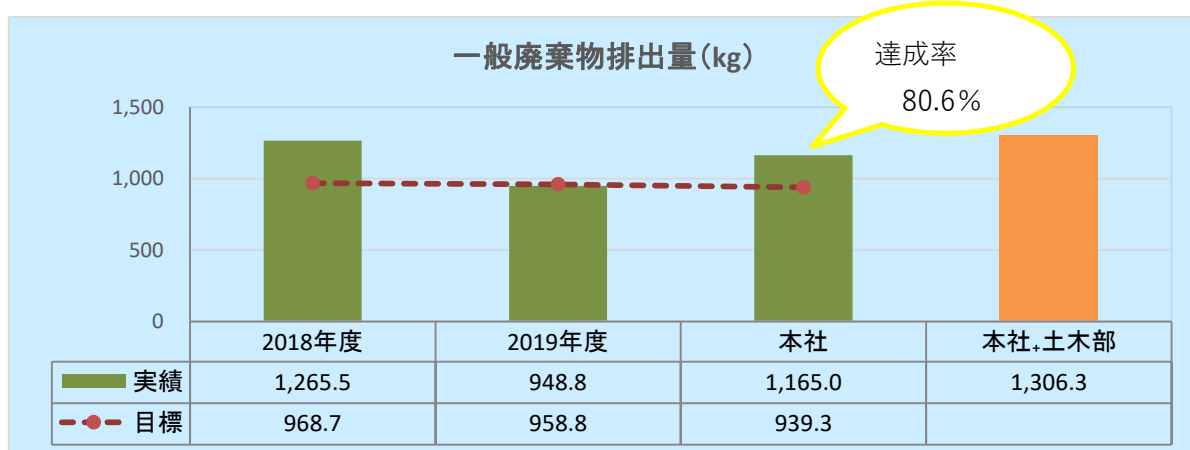
使用量は増加したが、原単位で目標を達成することができた。エコドライブ等ひとりひとりの意識が高まった結果である。

◆次年度の取組

車両・重機の適正運転(エコドライブの推進)、定期点検機械操作の工場、カーナビの積極的利用による効率的なルートの算定、排出ガス対策型機械の優先使用と購入を推進していく。研修会等を行いひとりひとりの意識を高めていく。今後は今年度を基準に目標値を設定し削減に努める。

一般産業廃棄物排出量削減

取組目標：前年度実績より1%減



目標	実績	達成率	評価
939.3 (kg)	1,165.0 (kg)	80.6%	×

※ 事業系ごみ・プラスチックごみは再資源化 ⇒ 再資源化率 79.7%

◆取組結果

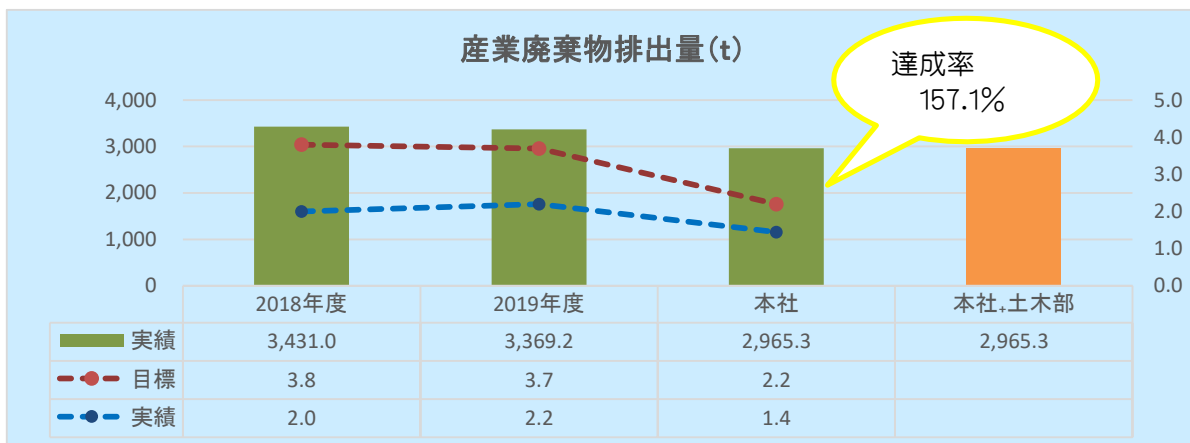
事業系紙ごみを再資源化としたため、再資源率は79.7%となった。ゴミの量が増加している。ゴミの分別、リサイクルの意識を高めていきたい。

◆次年度の取組

ペーパーレス化の推進、ゴミの分別の徹底をしていく。今後は今年度を基準に目標値を設定し削減に努める。

産業廃棄物排出量削減

取組目標：前年度実績より1%減



目標	実績	達成率	評価
2.2 (t)	1.4 (t)	157.1%	◎

◆取組結果

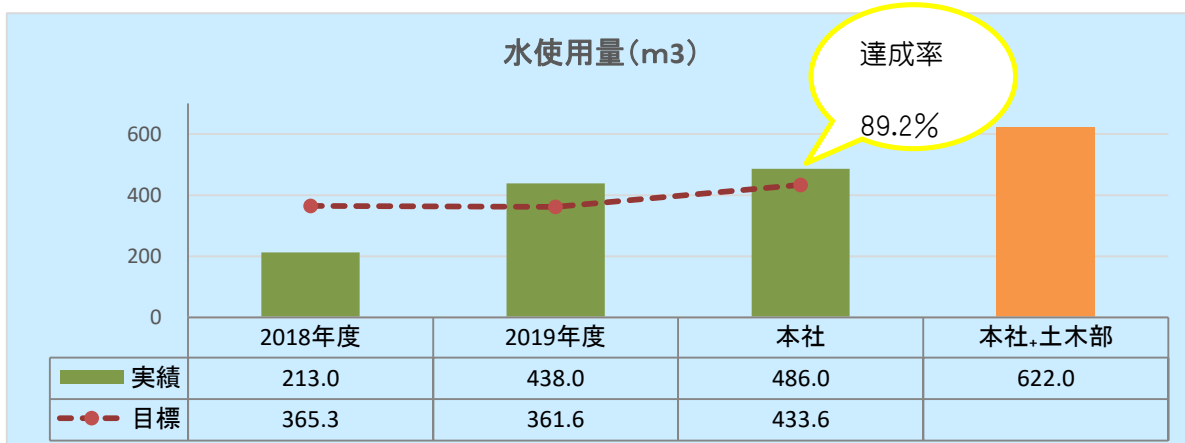
排出量は工事内容により左右されるが、従業員の分別意識の向上や残資材のリサイクルに努める。

◆次年度の取組

安全パトロールでの確認を行い、引き続き削減に努めていく。
廃棄物の適正処理、産廃排出量の把握、3R運動、分別のルールの周知徹底をしていく。
今後は今年度を基準に目標値を設定し削減に努める。

水使用量削減

取組目標：前年度実績より1%減



目標	実績	達成率	評価
433.6 (m ³)	486.0 (m ³)	89.2%	×

◆取組結果

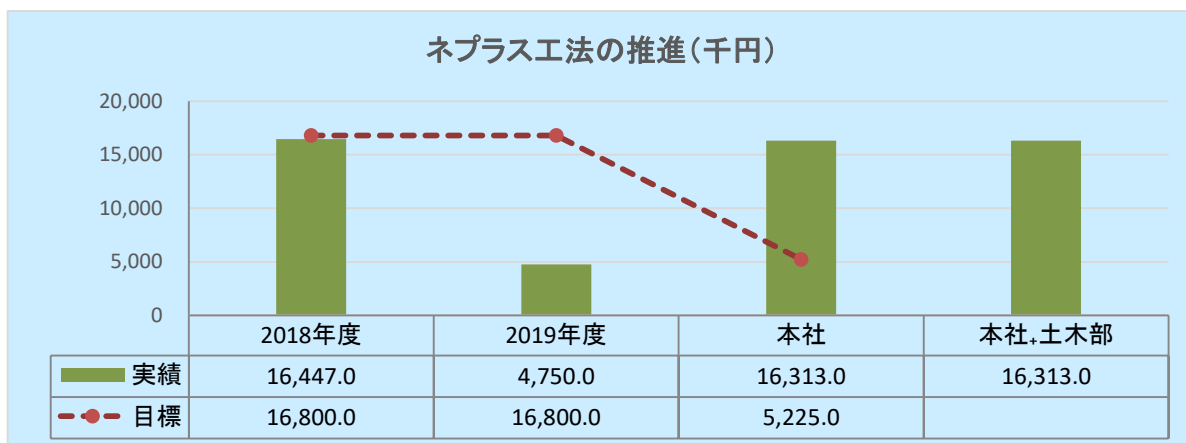
前年同様、テナントの使用量が把握できないため正確な水量が確認できないが、前年と比較すると使用量が増加しているため削減に努めたい。

◆次年度の取組

日常的な節水、水漏れの点検と管理、水量抑制のための元栓の調整等と引き続き削減に取り組んでいく。

ネプラス工法の推進

取組目標：前年度実績より**10%増**



目標	実績	達成率	評価
5,225.0 (千円)	16,313.0 (千円)	312.2%	◎

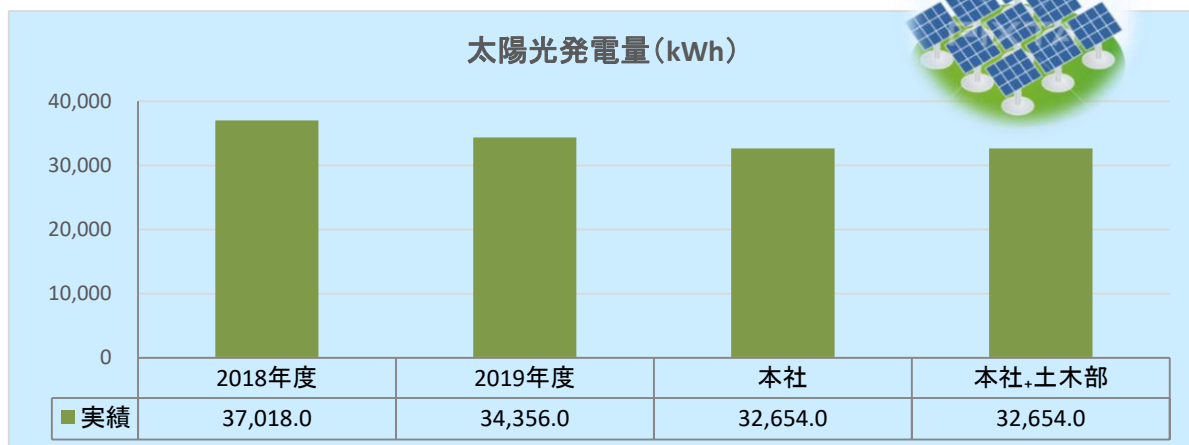
◆取組結果

今年度はネプラス工法の受注をたくさんいただくことが出来た。日頃の営業活動の成果による。

◆次年度の取組

現場等でのネプラス工法の提案。パンフレットの活用。ホームページで積極的にPRしていく。

太陽光発電量



◆取組結果

天候に左右されるため目標値は持たないが、売電量を知ること自然エネルギーへの関心を高める。

◆次年度の取組

引き続きデータの集計を取っていく

8. 環境関連法規制の遵守状況

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

適用法	要求事項	遵守状況の確認及び評価の結果
廃棄物処理法	委託契約の書面	○
	マニフェストの管理	○
	実績報告書	○
	産業廃棄物収集運搬業許可証 (平成30年10月12日 更新許可)	○
資源有効利用促進法	再生資源利用促進計画書	○
建設リサイクル法	対象工事における再資源化等報告書	○
騒音規制法	特定建設作業実施届出書	○
振動規制法	特定建設作業実施届出書	○
フロン排出抑制法	簡易点検表による管理	○
自動車リサイクル法	引き渡し時における適正な処理 (リサイクル券)	○
家電リサイクル法	引き渡し時における適正な処理 (リサイクル券)	○
消防法	本来の使用目的以外で使用しない	○

(2) 違反、訴訟等

環境関連法規の遵守状況は、6月に環境管理責任者を中心として確認し調べた結果、環境法規への違反はありませんでした。

また過去3年間違反・訴訟の無いことを報告します。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

● 全体評価

(1)	環境経営方針 環境経営方針については変更ありません。
(2)	環境関連法規等の遵守状況 法規等の遵守評価については問題ありません。
(3)	環境経営目標の達成状況 土木部を拡大し昨年度との比較を難しいが、重機・車両が大幅に増加した状況でもガソリン・軽油原単位目標を達成することが出来た。電力使用量、灯油使用量については今後も削減に努めていく。また、ノー残業デーの励行、休日出勤の廃止をさらに取り組んでいく。
(4)	環境活動計画の実施状況 スケジュール通りに実施されています。
(5)	外部からの苦情等への対応 苦情等の内容を十分精査し、本旨を確認したうえで相手方への謝罪と今後同じことが起きないように再発防止会議を行った。 開始前の現場の確認を怠らない。
(6)	その他 特にありません。

● 見直しの結果

1. 昨年度同様、化石燃料削減に向け、手直し工事ゼロを目標に施工を行っていきましょう。
2. 各自の技能向上により、作業効率をあげ、Co2排出量の少ない工事をめざしましょう。
3. 使用機械、車両は、ハイブリッド車や低排出ガス機械等を選定しよう
4. 残業の圧縮努力や休日の増加により、環境負荷を減少させよう
総労働時間が減ったことで、生産性が落ちることのないように、そのためにも、無駄を省いて、効率の良い作業をすることを求めています。
5. エコに対してのひとりひとりの自覚が少し薄れているように感じる。もう一度研修会等を行い個々の関心を高めるようにしていきたい。
6. SDGsの認証取得を周知し、意識の確成を図ることで本活動にも良い影響が出ることを期待しています